

発行：チボリ国際里親の会事務局編集部
 事務局：〒110-0016 東京都台東区台東1丁目25-16 大熊ビル205
 TEL.03-3835-1545 FAX.03-3835-1546 IPTEL.050-1371-1541
 URL：http://www.jofpa.org E-mail：jofpa-tokyo@jofpa.org

- 1 …… コミュニティだより
- 2～4 …… チボリ訪問記
- 5 …… 第32回総会のお知らせ
アンケート回答集計
臨時理事会・2013年(H25)あり方委員会の報告
- 6 …… 平成23年度収支報告書
- 7 …… 平成24年度予算案
平成24年度活動計画案
- 8 …… 高島屋アジアスタイルフェア
事務局からのおたより

学校に行けないフィリピンの少数民族(チボリ族)の子どもたちを精神里親制度で支援しています



里子の卒業おめでとございます！

今年の卒業式の日程と、里子の卒業について現地から報告が届きましたのでお知らせします。



3月20日	ベネフ、ツブラン小学校	2名卒業
3月21日	エルロー、ラヒット小学校	4名卒業
3月22日	デコロン・ハイスクール	10名卒業
3月23日	ニアン小学校	4名卒業
3月24日	レムエヘク小学校	18名卒業
	ハイスクール、カレッジ	22名卒業

※各大学にて大学奨学生3名が卒業しました。

卒業の日を迎えることのできたみなさんにJOFPAの里親を代表してお祝いの言葉を贈ります。たくさんの困難に出会い、それらを乗り越えながら勉学に励んでこられたみなさんの表情は、今、きっと美しく明るく輝いていることでしょう。自分を育ててくれたあらゆるものに、思いやりと感謝の心で接し、家族や地域社会に貢献できる人格と能力をさらに磨くスタートラインに立っています。あなたが民族の誇りと自信を持ち、世界の人々と助け合いながら、共に生きる人生を歩んでほしいと願っています。日本の里親が、みなさんの成長を応援し、今日の卒業を共にやるこんでいることをお伝えします。
 (上記のお祝いメッセージが英訳されて、現地の卒業式に披露されました)

2012年3月9日

JOFPA会長 南 昌宏

菅沼医療基金報告

菅沼基金はサンタ・クルス・ミッション学校法人の医療基金として、コミュニティの人々や子どもたちの健康増進のための支援です。

(2011年3月から2012年2月まで) SCMSI 報告

■活動及び実績

SCMSIの保健室では軽い症状がある621名の子どもや学生に薬を与えました。以下報告です。

病名	子ども・学生数
インフルエンザ	130
咳	114
上腹部痛	100
下痢	90
めまい	64
頭痛	50
その他	73
合計	621

■歯科サービス

自治体には歯科医が1人しかいないので、歯科検診を行った後で、抜歯、薬が必要な患者(74名)にヘルスセンターに行くようにアドバイスをしました。

■通院患者への投薬

診察に訪れたSCMSIの生徒・学生やコミュニティの人々は、症状に応じて薬が無料で配布されました。

JOFPAの菅沼基金のおかげで、チボリのコミュニティが拡大し、健康面では多くの人々が救われました。ここに感謝と敬意をおくります。

チボリ 訪問記 その1

有志によるチボリ訪問

理事 河原 紀夫

今回の訪問で私たちはSCMSIの先生と懇談会を持ちました。

SCMSIからは、東日本大震災に哀悼の意が述べられ、30年にわたる支援に感謝の意が表せられた。「JOFPAの訪問は、チボリの活動に刺激をあたえる。個人旅行でも歓迎する。9月の第2週の金曜日の開校記念日にもお出で下さい。従業員（教師41名、職員68名）は公立に比べて安い給料で頑張っている。また、SCMSIでは給食があるのでドロップアウトが少ない。貧しい若い人を1人でも多く教育し、少数民族の質を高めたい。支援の継続をお願いします」とのことでした。

JOFPAからは、「町も学校も向上発展し、自立を感じる。SCMSIの努力に敬意を表す。今日本では、災害で困っている人も多い。また、永年チボリを支援してきた人も高齢で余裕がなくなり、支援者の数も大幅に減少した。未就学児がいるのは承知しているが、一旦、従来の支援は終了させることにした。もう少しチボリの経済が向上安定するまで支援が必要との意見もあり、2013年以降の会のあり方について検討する予定。しかし、SCMSIからの現地の情報の伝達が少なく、JOFPAの支援の価値の判断



セブ湖の養殖場

ができない。より多くの情報の伝達が必要。また、日本のことと日本語の教育を実施することが必要ではないか」との意見を伝えた。

今回は、成田出発時に訳も分からず5人がマグハイクラス（ひとつ上のクラス）に乗せられマニラまで良い思いをしたり、帰路では1人、関空へ27日に帰れずゼネラルサントスにもう1泊を余儀なくされるなどのハプニングもありました。現地では天候に恵まれ、また親切にして頂き、美味しい食事と15種類もの果物に出会うなど思い出深い旅となりました。参加者のご協力に感謝します。

チボリ 訪問記 その2

里子を訪ねて

宮崎 純一（高知県）

私は会員として、これまで3人の里子をサポートしてきました。今回の私の訪問の目的は現在の里子に会うためでした。彼女は21才で4年間ゼネラルサントス市のミンダナオ州立大学で勉学に励んでいました。3月21日卒業式と31日のセレモニーも無事終わり卒業という大きなイベントを成し遂げました。心から祝福したいと思います。私は日程の関係で卒業式及びセレモニーに出席出来なかったのはとても残念でした。里子は卒業という大切な時期を迎え慌ただしい日々を送っている最中で、私が突然訪問したことで大変だった事でしょう。

さて、話は前後しますが、3月19日関西空港からマニラへとひとりで出発し、東京からの皆様と合流しました。総勢6人は、その夜、マニラに1泊しました。翌日ゼネラルサントス経由でチボリのレイクセブの宿泊地へ着いたのが夕方近くでした。チボリの人々は温かく我々を迎えてくれました。昼間は気温が高いが朝方は肌寒く感じられ、思ったより快適でした。



里子と嬉しい対面

待ちに待った里子との面会が実現したのが3月29日の朝方で、お父さんと一緒に来てくれました。私は会ったとたん思わず彼女をハグしてしまいました。年を取ったせいか涙腺が少し緩みました。ふと後ろを見ると彼女のお父さんも手で涙を拭いている姿が見受けられました。

私は初めてフィリピンを訪問しましたが、人々はエネルギーで親切でした。また勤勉な人々だと感じました。

最後に、チボリの人々及び同伴していただいた皆様に感謝申し上げます。帰国の日、里子は空港まで見送ってくれました。再会を約束して！

16年ぶり、3度目のチボリ訪問

安井 恵美子（愛知県）

昨年11月に届いたチボリニュース、277号の理事会報告の中に「外務省からはいまだにチボリへの団体旅行の許可は出されていないが、有志の形で訪問する」という記事を読みました。機会があればもう一度訪ねたいと思っておりましたので、すぐ申し込みました。

私が最初にチボリ訪問したのは、1994年7月。2度目は、その2年後の1996年3月。3度目の今回は、参加者が6名、9日間の日程でした。おもなスケジュールは、ラヒット小学校、デコロンハイスクール、メインセンター（小学校、ハイスクール、カレッジの総合学校）の卒業式に参列することでした。野外に設営された式場は、周囲に村の人たちが家族総出で集まって来ます。卒業生は小学生とハイスクール生は民族衣装で、カレッジ生は黒の角帽とガウンを着て、両親や祖父母と一緒に入場する様子は16年前と同じでした。

しかし、16年前、式の余興に披露されたチボリダンスや、チボリの1日といった寸劇に代わり、Tシャツ姿でリズムカルなダンスや、カレッジでは美しいモダンダンスが演じられ、すっかり今風になったのに驚きました。ハイスクールには、図書館もコンピューター室も家庭科室もあり、充実してきたことも感じました。民家も16年前はコゴン草と竹で作られた高床式の家でしたが、今はコンクリートや木材の家が変わっていました。一見豊かになってきているようにみえましたが、いまだに小さい子どもがポリタンクやバケツをさげて水運びをしています。子どもたちの体格が痩せて、小さい子が多いのにも心が

痛みました。停電も16年前と同じように頻繁に起きます。

気候は住み易く、果物は豊富で美味しく、生きていくのには恵まれたところですが、学校を卒業しても仕事がなく、村の人たちは貧しい様子でした。それでも、サンタ・クルス・ミッションの卒業生が町の重要なポストに就いたり、学校の先生になったり、役場で働く人も少しずつ増えてきていることは嬉しいことでした。

最後の日、先生方や職員の方々とのミーティングがありました。先生方はとても熱心に教育に当たっておられます。「給料は安いけれど、私はここで必要とされているので、ここで頑張ります」と明るい笑顔で話された中年の女の先生の話が印象に残りました。

現地のスタッフの方々、全員が、里親の会に対して引き続き援助してほしいと切望されました。

訪問団からは、チボリの情報をもっともっと送ってほしいと要望が出されました。その後、村の方々のチボリダンスや楽器の演奏があり、最後は、私たち6人も加わってチボリダンスを踊り、楽しい訪問が終わりました。



カジュアルなダンス風景



メインセンターの卒業式に参加

今後を見極める旅 山内 末雄（神奈川支部長）

今回のチボリ訪問は3月19日から27日までの9日間の旅である。マニラ行きは乗客は多く、ほとんど満席、我々グループ5人は乗務員にビジネスクラスの席に案内された。座席は広いし足を伸ばせる。おまけに食事エコノミークラスよりも上等のようで料理は高級のように思えた。マニラまで約4時間30分、足を伸ばして寝られる広さがあるので嬉しかった。

チボリの事をよく知り英語にも堪能な相田さん、愛知県の安井さん、理事の河原さん、訪問5回目の山内と2回目の山内あい子と、関空から別便で参加の宮崎さんの6人の旅の始まりである。

ホテルはセンチュリーパークホテルという立派なホテルで、今日は疲れているからバイキングの方がよいということになる。これがまた大当たりでマンゴーやパイア等食べ放題の夕食でした。第2日目は朝早く5時にホテルを出発、ゼネラルサントスに向かう。機内はクーラーがきいているので半袖では寒く、長袖がほしい。

マニラと成田の気温は大して変わらないが、ゼネラルサントスに向かって2時間南下すると、さすが熱帯の太陽が照りつけ暑い、飛行場にはマリア・ガンダムが迎えに来ていた。ここで、私の最初の里子ジョニー・ガンダムが病気で死んだことを知らされる。チボリに来た時は必ず会いに来てくれる楽しみのひとつがなくなり愕然とする。子ども4人を残して昇天してしまったジョニーよ。安らかに！

チボリの里に向かう途中マーベルのパッションスト修道院に寄り松田さんに日本の珍味を渡す。鮪の刺身の昼食をご馳走になり、新築修道院の建築現場に案内される。新しいところは小高い丘の上に見晴らしのよい所で敷地も広く立派な物ができるだろう。今のところはコンクリートの柱、数本と総足場が掛けられている。排水土管の工事をやっていた。新しい物が出来たら、今の修道院は壊して、土地も売りに出すそうだ。来年は今までの修道院は見られないかもしれない。

3月21日からは各学年の修業式と卒業式となる。私たちは卒業証書を各人に渡したり、胸にリボンをつけたり、優秀者「学業・スポーツ・その他」にはオリンピック並みに金メダルを首にかける名

誉ある仕事のお手伝いをするのである。生徒は皆、今日のために父母あるいは兄弟に付き添われて、壇上に上がって首にメダルを掛けてもらい、誇らしそうに悠々と壇から下りていく。付き添いの親たちも立派に育った息子や娘のために盛装して嬉しそうだ。カレッジの卒業生の中にはミンダナオ州の試験に95点も取り、1番の学生もいるとのことである。私たちJOFPAの一員としても喜ばしいことである。

最後に、この度のチボリ訪問の目的を述べて、今後の行動を決めようと思う。

- ①1991年1月チボリニュース123号によれば、会員数3660人、小学校25校、ハイスクール2校、カレッジ1校、生徒数5630人の大世帯でしたが、今は小学校6校、ハイスクール1校、カレッジ1校、会員数688人と激減の現状。減少した原因と対策を見極めなければならない。
- ②教育の大切さを親たちが認識し始め、学業も優秀な若者が多く見られる様になった。チボリ市役所にはパソコンを前に多くのSCMSI出身者が仕事をしてしたが、他に職はないのか？
- ③農業も植林も20年以上と長い。収穫物を売って経済的自立を計るという理念はどうなっているのか？

最初、私は30年たっても自立ができないのは、JOFPAの援助のせいなのか？だから援助はもうやめるべきだと言っていた。しかし、卒業式の会場で頼もしい若者が輩出しており、また親たちも子どもたちを信頼して将来を託しているという気持ちひしひしと伝わってきたので、考え直してみようと切に思ったのでした。



チボリ訪問者と先生達

第32回総会のお知らせ

日時：平成24年6月10日(日)13時30分～
 場所：台東区生涯学習センター(地図参照)
 東京都台東区西浅草3-25-16

- 議題：1. 平成23年度活動報告と収支報告
 2. 監査任期満了に伴う新監査の選出・承認
 3. 支援契約終了と今後の対応について
 1) 現地訪問報告
 2) 2013年(H25)あり方委員会からの提案
 4. 平成24年度活動計画と予算(案)について
 5. その他(会員からのご意見・要望)

<交通機関>

◎ JR山手線・京浜東北線「鶯谷駅」南口 徒歩約15分
 地下鉄 日比谷線「入谷駅」1番出口 徒歩約 8分
 つくばエクスプレス「浅草駅」A2出口 徒歩約 5分
 かつば橋道具街通り沿いにあります。

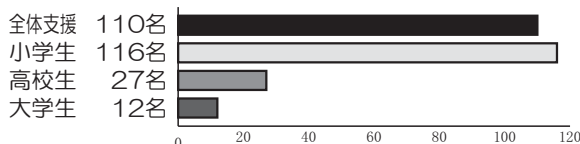


総会へ出席できない正会員の方は、同封ハガキ、ファックス、メールの何れかにて委任状を5月31日(木)までに事務局にお出し下さい。
 (問い合わせは事務局へ) 電話03-3835-1545又は090-7717-0545

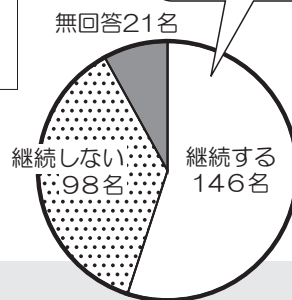
アンケート回答集計

2月号で皆さまに契約終了後のアンケートをお願いいたしました集計結果です。
 回答者は688名のうち265名でした。

Q. 支援活動の方法は？



Q. 2013年契約終了後、支援を継続しますか？



臨時理事会・2013年(H25)あり方委員会の報告

2012年4月20日(金)午後12時半より事務局にて臨時理事会・2013年(H25)あり方委員会が開催され、下記について協議されました。

1. 報告事項として、経済的支援の覚書、菅沼基金10万と矢野基金10万円の支出について報告がありました。
2. 第32回総会に向けて、式次第・平成24年度活動計画(案)・予算(案)について協議されました。その他の支援事業として、昨年に引き続き東日本大震災支援が継続されることになりました。支援事業以外の活動として、横浜高島屋アジア
3. インスタイルフェア(8月29日から9月3日まで開催)に参加することが確認されました。
4. アンケート結果集計に基づき、継続すると答えた会員数から考慮すると、平成25年度以降の事務局運営費がまかなえなくなることが明らかです。2013年(H25)あり方委員会は、継続される会員のために、JOFPAの進むべき方向を最善にすべき方策を検討することとしました。

平成23年度収支報告書

I 収入の部

平成23年4月1日から平成24年3月31日
チボリ国際里親の会 (単位:円)

科目	金額	備考	H23年度予算額	増減
前期繰越金	6,427,317		6,427,317	
当期収入				
会費	10,691,500	年会費24,000円X会員口数X0.78	10,800,000	△ 108,500
一般寄付	249,920		100,000	149,920
特別寄付(菅沼)	41,552	医療関連	80,000	△ 38,448
特別寄付(奨学)	535,500	奨学金関連(大学奨学生42,000円X口数)	756,000	△ 220,500
クリスマス寄付	132,000	クリスマス関連	150,000	△ 18,000
特別寄付(その他)	148,000	東日本大震災支援、その他	200,000	△ 52,000
その他の物品販売	152,030	民芸品販売・使用済切手	100,000	52,030
受取利息	6,316			6,316
合計	11,956,818		12,186,000	△ 229,182
合計	18,384,135		18,613,317	△ 229,182

II 支出の部

科目	金額	備考	平成23年度予算	増減
事業費				
教育支援費	8,800,000	80万円X2カ月+72万X10カ月	8,800,000	0
給食支援費	960,000	10万円X10カ月(4.5月除く)	960,000	0
奨学生支援費	96,000	奨学生管理費(500円X口数X12カ月)	120,000	24,000
特別支援費(クリスマス)	150,000	クリスマスプレゼント	150,000	0
(医療)	100,000	菅沼医療支援	100,000	0
(奨学金)	672,000	奨学金(3,500円X口数X12カ月)	756,000	84,000
(修学旅行)	100,000	卒業研修旅行(矢野基金)	100,000	0
(その他)	217,000	東日本大震災支援、SCMSI50周年記念	200,000	△ 17,000
販売事業費	36,939	現地より民芸品買取、棚卸処理	50,000	13,061
(小計)	11,131,939		11,236,000	104,061
運営費				
給与手当	1,177,125	事務局スタッフ3名(非専従)	1,150,000	△ 27,125
事務用品	97,940	什器リース・インク・用紙(封筒、ラベル)	100,000	2,060
印刷製本費	389,400	チボリニュース年4回発行	450,000	60,600
広報活動費	6,000	各種催し参加費	10,000	4,000
通信費	367,573	会報発送・電話・ファックス・サーバー費等	500,000	132,427
手数料	5,285	送金手数料	8,000	2,715
旅費交通費	740,262	理事・支部長・事務局・ボランティア	550,000	△ 190,262
会議費	18,199	会場使用料(総会・支部会)	10,000	△ 8,199
賃借料	630,000	事務所使用料	630,000	0
水道光熱費	75,714	電気・ガス・水道料	80,000	4,286
運搬費	2,570	各種催し参加のための運搬費	5,000	2,430
雑費	2,932	事務所・トイレ備品等	2,000	△ 932
予備費	0		10,000	10,000
(小計)	3,513,000		3,505,000	△ 8,000
当期支出合計	14,644,939		14,741,000	96,061
特別基金へ繰り入れ				
特別基金取崩	218,000			
次期繰越金	3,957,196			

貸借対照表

科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	39,073
振替預金	5,637,030
普通預金	1,001,537
定期預金	1,117,450
棚卸	83,280
2 固定資産	
敷金	300,000
合計	8,178,370

平成24年3月31日現在

科目	金額
II 負債の部	
未払金	335,315
III 正味財産の部	
菅沼基金	282,391
ティナラク基金	561,837
矢野基金	436,060
法人化基金	2,176,902
クリスマス基金	428,669
剰余金	3,957,196
合計	8,178,370

チボリ国際里親の会・平成23年度収支決算につき、以上のように報告します。

私たち監事は、上記会計報告につき、厳正な審査の結果、適正と認めます。

平成24年3月31日

会 長

事務局 会計

平成24年4月25日

監 事

南 昌 宏

関根 千恵子

坂詰 美代子

吉永 洋子



平成24年度予算案

平成24年4月1日から平成25年3月31日

I 収入の部

チボリ国際里親の会 (単位:円)

科目	金額	備考
前期繰越金	3,957,196	
当期収入		
会費	8,800,000	年会費24,000X会員口数X0.78
一般寄付	100,000	
特別寄付 (医療)	40,000	菅沼医療支援
(奨学金)	420,000	大学奨学生42,000円X口数
(修学旅行)	250,000	研修旅行支援
(クリスマス)	130,000	クリスマス支援
(その他)	100,000	東日本大震災支援、その他
その他の物品販売	250,000	民芸品販売(横浜高島屋他)・使用済切手
合計	14,047,196	

II 支出の部

科目	金額	備考
事業費		
教育支援費	7,840,000	72万x2カ月+64万x10カ月
給食支援費	920,000	9.2万x10カ月(4.5月除く)
奨学生支援費	60,000	奨学生管理費(500x口数x12カ月)
特別支援費 (医療)	100,000	菅沼医療支援
(奨学金)	420,000	大学奨学生42,000X口数
(修学旅行)	100,000	大学奨学生42,000X口数
(クリスマス)	130,000	クリスマスプレゼント
(その他)	100,000	東日本大震災支援
販売事業費	100,000	現地より民芸品買取
(小計)	9,770,000	
運営費		
給与手当	1,200,000	事務局スタッフ(非専従3名)
事務用品	100,000	什器リース料・コピー機トナー・PCインク・印刷用紙等
印刷製本費	450,000	チボリニュース年4回発行、封筒追加印刷
広報活動費	10,000	各種催し参加費
通信費	500,000	会報発送・電話・ファックス・サーバー費用
手数料	60,000	家賃更新料(52500) 送金手数料
旅費交通費	1,000,000	理事・支部長・事務局・ボランティア
会議費	20,000	会場使用料(総会・支部会)
賃借料	630,000	事務所使用料
水道光熱費	80,000	電気・ガス・水道料
運搬費	10,000	各種催し参加のための運搬費
雑費	10,000	事務所・トイレ備品等
予備費	10,000	
(小計)	4,080,000	
当期支出合計	13,850,000	
次期繰越金	197,196	
総合計	14,047,196	

平成24年度活動計画案

支援事業

教育支援事業

1. 教育支援
2. 給食補助支援
3. 大学奨学生支援

その他の支援事業

1. 医療支援
2. クリスマスプレゼント
3. 卒業研修旅行支援
4. 東日本大震災支援

支援事業以外の活動

1. 支援契約終了後の対応
(調査あり方委員会 現地打合せ)
2. チボリ・ニュース年4回発行
(5月 8月 11月 2月)
3. ブロック会・支部会の開催
4. バザー・イベントへの参加
(横浜高島屋フェア出展 他)
5. 古切手の回収
6. ホームページ更新

横浜高島屋アジアスタイルフェア



チボリ国際里親の会が2度目の出店です。
 と き 8月29日(水)から9月3日(月)
 と ころ 横浜高島屋(神奈川県)

- *友人、知人をお誘いのうえぜひお越しください。
- *会場で民芸品の販売をお手伝いいただけませんか？ボランティアを募集しています。事務局まで、ご連絡ください。電話 03-3835-1545



好評のティナラク織布のハクビバッグ

事務局からのおたより

■総会開催について

6月10日(日)1時30分より開催します。詳細は5頁をご覧ください。ご出席できない正会員の方は委任状の提出をお願いいたします。

■東日本大震災への義援金

昨年に引き続き、東日本大震災への支援を予定しています。皆さまからのご協力をよろしくお願いたします。

■里子の卒業のお知らせ

JOFPA里子の卒業の報告が現地から届き、各里親の皆さまにご連絡をしております。

■会費状況のお知らせ

正会員番号HからKまでの方に会費状況を今号のチボリニュースに同封しました。ご確認下さい。会費の遅れている方、ご協力よろしくお願いたします。

■古切手売上代金

皆さまからお送りいただきました使用済み切手を、ボランティアの方々が整理したあと、業者に引き取っていただいております。おかげさまで昨年度の代金は10,100円になりました。ご協力、ありがとうございました。

JOFPAへのご支援・ご協力ありがとうございます

敬称略(2012年2月3日~2012年5月2日)

■ご寄付者 (ご寄付・随時ご協力の賛助費についてお名前を紹介させていただきます。)

東文恵 荒木のり 上杉清治 沖野和利 カトリック貝塚教会婦人会 桑原旬里子 河野二郎
 坂詰美代子 杉山幸子 高井和子 武田一枝 中澤恵子 永見孝二 永見満子 早瀬峰子
 平賀貴久子 福田昌佳 南昌宏 匿名1名

■切手 (未使用、使用済含む) その他

青木文子 阿部博 安藤詔子 内川明彦 大坂照代 大山 小川貴子 加藤幸子 カトリック手稲教会福祉部
 神谷光子 木村由希 熊谷友子 小島綾子 小玉なほみ 小林いさ 佐藤亜矢 佐藤謙一 佐藤春子 佐保恵子
 芹田美津子 菅原健一郎 須田晃 平由美 高倉佳奈 高橋 早川範雄 船水重郎 日沼素子 堀井照重
 長澤ヤス子 植岡トキ子 松田真紀子 三浦満喜子 三井撰子 柳谷昭司 山田浩子
 ユキミコーポレーション(株) 吉木優子

■ボランティア (会報、バザー、翻訳、その他)

相田陽子 安藤美知子 大須賀三歡 恩田和美 佐伯三郎 鈴木光江 正垣恵津子 武田とよ子 富江崇
 長崎すみ子 増田憲治 溝口道代 吉永洋子 渡辺洋子



お名前掲載を希望されない方は、お手数ですがその旨事務局までご連絡をお願いいたします。

■編集後記

今回のチボリニュースを発行するにあたり、チボリ訪問者の方々から快く感想文をいただきました。その文章は、現地訪問がいかに大切であるかを表現されています。この度、河原理事は今回の訪問で、企画から引率まで大変お疲れ様でした。報告書をお願いしたところ、現地をよく把握された丁寧で詳細な文章を受取りました。しかし、紙面の関係や他の方の原稿と重複する部分があり、大半を割愛していることを、会員の皆様にお伝えします。しかし、この報告書は「理事会、あり方委員会」で、今後の方針を決めていく重要な役割を果たすと思えます。(大須賀)